



大阪市立 北鶴橋小学校

校長名 光井 栄雄

所在地 〒544-0031 大阪市生野区鶴橋3-4-50

電話 06-6741-6706 FAX 06-6741-0602

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671480>



主な学校行事

4月	入学式 始業式 対面式 家庭訪問 新体力テスト 発育測定 避難訓練 学習参観・懇談会
5月	国際クラブ(民族学級)入級式 運動会
6月	創立記念日 たてわり班遠足 学習参観 プール開き 体重測定
7月	期末個人懇談会 終業式 5年 自然体験学習 図書館開放 盆踊り大会(地域・PTA)
8月	始業式
9月	避難訓練 発育測定 学習参観 学校公開 遠足(1~5年)
10月	6年修学旅行 就学時健康診断
11月	学校公開 国際クラブ(民族学級)発表会
12月	作品展 期末個人懇談会 終業式
1月	始業式 避難訓練 北鶴フェスティバル 発育測定 もちつき大会(地域・PTA)
2月	学習参観・懇談会 入学説明会 6年卒業遠足 体重測定
3月	卒業をお祝いする会 国際クラブ(民族学級)修了式 卒業式

教育目標

心ゆたかな子ども ~よく考える子 助け合う子 進んでやる子~

重点目標

- (授業改善)
- 新しい生活様式の中でのICT機器を有効活用した学び合う学習スタイル(GIGA School構想)の確立
- プログラミング教育の実施(個性が生きる学校づくり)
- 個性を活かす個別支援の在り方 ○国際社会を生き抜く力の育成

令和3年度全国学力・学習状況調査

大阪市教育委員会の方針では、調査対象学年が単学級の場合は公表しないことができるとされていますが、生野区では単学級が継続する場合のみ平均正答率は公表しないとしています。

● 結果概要

平均正答率については、前年度よりは上昇したものの、国語は全国よりも約4ポイント、大阪よりも約2ポイント低かった。算数は全国よりも約4ポイント、大阪よりも約3ポイント低かった。平均無解答率については、国語は全国よりも約3ポイント、大阪よりも約3ポイント下回った。算数は全国よりも約1ポイント、大阪よりも約1ポイント下回った。問題解答に積極的に取り組んだことがうかがえる。領域で分析すると、国語では「読む」「言葉の特徴」で全国を上回ったが、「書く」では全国を下回る結果となった。算数では「数と計算」で全国を上回ったが、「図形」「データの活用」では、全国を下回った。特に、国語の「書く」算数の「図形」領域は、課題の残る結果となった。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

国語科では、学校力UPベース事業によるきめ細やかな指導や読書

標準服

有



教育方針

4つのC

Change (変革する)
PDCAサイクルののっとり
学校行事の変革を行う。

Challenge (挑戦する)
ひとりひとりの特性を活かしながら、
例年にとらわれず授業改善に挑戦していく。

Collaborate (協働する)
[ONE TEAM]としてなかまの
Challengeを支えていく。

Create (創造する)
子どもとともに考え、よりよい学校を
創造していく。

めざす子ども像

- 進んであいさつする子
- 話をしっかりと聴ける子
- 進んで学習をし、よく考える子
- 思いやりの心を持ち、自他の文化を大切にできる子
- 自分や友だちのよさを見つけ、そのよさを認め合える子
- 進んで健康な体づくりに努め、安全に行動できる子

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

大阪市教育委員会の方針では、調査対象学年が単学級の場合は公表しないことができるとされていますが、生野区では単学級が継続する場合のみ種目別平均値は公表しないとしています。

● 結果の概要

男女共に8種目中5種目で大阪市の平均を上回り、男女共に4種目で全国平均を上回る結果となった。特に男子の反復横跳びは全国平均より約5点、女子の握力も約3点も上回っている。質問紙「運動やスポーツをすることは好きですか」では、男子が約90%が女子は約80%が肯定的な回答をしており、男女ともに大阪市の平均を上回った。「好き」「やや好き」と回答した理由として、「体を動かすとすっきりとした気分になるから」「友達や仲間と一緒に活動できるから」があげられた。このことから、コロナ禍で制限が多い学校生活において、運動やスポーツが児童にとって心と体に及ぼす影響は大きいといえる。また、1週間の総運動時間に関しては、男女ともに、60分~419分と回答した児童が多かった。420分以上と回答した児童は、男女ともに大阪市の平均より少ない傾向にある。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

- ・年間を通して、全校でなわとび運動に取り組んだ。20分休みの最後の3分間を音楽に合わせて自由に跳ぶという「なわとびタイム」を継続した。緊急事態宣言中やまん延防止等重点措置期間中は中止をしたり、一人一人の間隔を十分あけてなわとびに取り組んだりと感染症対策を講じながら実践することができた。その結果、休み時間に外遊びに行きたがらない児童も、外に出るきっかけづくりにもなり、体力の向上につながった。
- ・「きたつる元気っ子週間」を各学期に1回設定し、体力・食育・生活習慣の3分野から健康な体づくりについて考え実践してきた。学校だけではなく、家庭にも協力を呼びかけ、学校と家庭の双方向から児童の健康な体づくりに取り組めた。
- ・コロナ禍であり、制限が多い学校生活において、学年に応じて児童が体を動かす時間や場の設定を工夫することが必要である。その中で友だちとの関わりやできた喜び、達成感を味わうことで自尊感情の向上につなげさせたい。

校長先生のメッセージ

小規模校であるよさを活かした、一人一人に向き合った学校づくりを児童、教職員、保護者、地域がTEAMとなって行っています。教室等の学習環境は「GIGA School構想」に則り、先駆的な設備を整えるとともにMIEE(マイクロソフト認定教育イノベーター)を有し、マイクロソフト本社よりICTを活用した学習を行っている学校として全国で6校しかないMicrosoft Showcase Schoolの1校として認定されています。感染症対策やオンライン授業、ハイブリット式授業など、変化に柔軟に対応できる授業づくりを行っています。

- その環境を生かしSociety5.0を生き抜く力の育成として
- これからの情報社会を生き抜くためのICT活用能力の育成
- 生きる喜び、学ぶ喜びをなかまとともに感じながら生きるポジティブシンキングの育成
- 自他の文化のよさを学び合う「国際理解の学習」を要とした、協働意識の高い国際人の育成に重点を置いています。そのための学習環境と独自のカリキュラムに加え、既存の考えにとらわれない、変化に対応し柔軟な対応のできる学校づくりを行っています。

運営に関する計画

● 計画のエッセンス

- 変化著しいSociety5.0を生き抜く児童の育成
- ICT機器を有効活用した新しい学力観に則った基礎・基本の定着と学ぶ楽しみを得られるための授業改善
- 「国際理解の学習」を要とした、日本や地域のことはもちろん、様々な国や地域の文化について理解し、互いのよさ高め合い、共生していこうとする国際人をめざした人権教育
- 「いじめ」=「人を嫌な気持ちにさせる言動」ととらえ、みんなが気持ちよく暮らせる社会をめざとする「心の育成」

● 中期目標、年度目標等

- 【安全・安心な教育の推進】
基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現
・令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的「思う」と回答する割合を90%以上にする。
・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に

- 対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
基本的な方向2 豊かな心の育成
・令和7年度の小学校学力経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を96%以上にする
・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「自分には、良いところがありますか」に
○対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を77%以上にする。
【未来を切り拓く学力・体力の向上】
基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上
・令和7年度の全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を1以上にする。
基本的な方向5 体力・運動能力向上のための取組の推進
・令和7年度の全国学力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の全国比を1以上にする。
【学びを支える教育環境の充実】
基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
・授業日において学習者用端末を毎日使用した学級の割合を100%にする。
基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり
・「学校園における働き方改革推進プラン」における教員の勤務時間の上限(時間外勤務月45時間以内)に関する基準を満たす教職員の割合を100%にする。

「特色ある学習活動」および「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

● GIGA School構想に則った、ICT機器活用に関する先駆的な取り組み

全教室に電子黒板機能付き大型モニターを設置し、デジタル教科書を有効活用した授業をどのクラスでも行っています。在籍するMIEE(Microsoft認定教育イノベーター)を中心に、全学年でタブレット端末を活用した授業を積極的に進めています。また、校内で所有するプログラミングロボットを活用して、プログラミング教育も計画的に行っています。



電子黒板を使った授業
タブレット端末を活用した話し合い活動
デジタルスクラップブックづくり
ロボットを使ったプログラミング学習
デジタルドリルで朝学習
オンラインを活用した学習

特色ある学習活動

● 学年を超えた交流活動

本校では全校児童124名の小規模校という特色を生かして、学年を超えた交流活動を盛んに行い「心の育成」に力を入れています。春に行う縦割り班で行く全校遠足を始めとして、交流給食等様々な取り組みを行っています。また、登校班を編成し、集団登校はもちろんのこと、毎学期、班会議も行い、縦のなかまづくりに力を入れています。



全校遠足
世界のおそび週間
児童集会
集団登校

特色ある学習活動

● Society5.0を生き抜く国際感覚の育成

本校には国際クラブがあり、様々な国や地域の文化にふれながら、「互いの文化を認め合い、高め合える国際人の育成」を行っています。国際理解発表会や国際理解週間では国際クラブを中心に様々な国の文化に触れるとともに「だんじり囃子(6年生)」「大阪学(4年)」など日本や地域の伝統文化についても大切にしてい取り組みを積極的に進めています。



国際理解教育発表会①
国際理解教育発表会②
だんじり囃子
国際理解教育週間

特色ある学習活動

● 個の特性を大切に教育の実践

校内に「通級指導教室」が設置されており、近隣校から「ことばの学習」にいられて学習をしています。本校児童は校内に設置されていることもあり、移動時間なく通うことができます。また、高学年算数科においては20名程度のクラスをさらに分割して、10人程度の習熟度別少人数学習も行ったり、認知力強化として「コグトレ」を取り入れたりするなど、個に応じたきめ細やかな学習を展開し、学力の向上を推進しています。



通級教室
習熟度別少人数学習
コグトレ掲示板

家庭・地域等との連携

● 地域ボランティアの方々との交流

登下校の見守り隊の活動により、児童の安全の見守りをしていただくだけでなく、お話の会や土曜授業などのゲストティーチャーをして活躍していただいています。また、「盆踊り大会」や「餅つき」、「ハイキング」など子どもたちを対象とした地域行事も盛んにおこなわれています。



昔あそび
花見(フワフワアレンジメント)
読み聞かせ
餅つき

北鶴橋小
鶴橋小
東桃谷小
勝山小
東中川小
小路小
東小路小
巽小
北巽小
巽南小
巽東小